



# Be an ACE!

大志・貢献・活力

県立直江津中等教育学校  
H30 学校だより No. 15

平成30年10月12日(金)発行

## 1 学期終業式、2 学期始業式校長講話 ～実りの秋へ向けて2 学期がスタート～

本日は本校のスクールポリシーである「Be an Ace!」について考えるために、幕末の医師である緒方洪庵の話をしていきます。洪庵は、日本において西洋医学の基礎を築いた人として有名です。1838年に大阪で適塾という医学、医療を教育する私塾を開きました。適塾は、今の大阪大学の原点となったものです。洪庵の業績として、江戸幕府が最初に公認した種痘所の設立があります。当時世界では多数の死者を出す天然痘が広まり、それを未然に予防するため、イギリスのジュンナーによって種痘が開発されました。緒方洪庵が設立した建物はその種痘を行うためのもので、除痘館と名付けられました。この除痘館を出発点として西日本各地に種痘が普及し、天然痘の蔓延を防ぐことができました。1979年に世界保健機構(WHO)は天然痘の根絶を宣言しましたが、洪庵は日本においてその先鞭を切る仕事を成し遂げたとと言えます。

彼はまた蘭学の第一人者でもありました。蘭学とはオランダ語を通じて、西洋の文化・学術を研究した学問のことです。最新の医療の知識を紹介するためオランダ語の書物を翻訳し、自らも多くの著書を残しました。やがて全国から多くの門人が緒方洪庵を慕って集まってきました。その中には大村益次郎、橋本左内、大鳥恵介、さらに塾頭の福沢諭吉など、日本の近代化に大きく貢献した人達がいきました。熱い志を持った塾生にとって、オランダ語でもたらされる最新の知識、技術には大変な驚きがありました。当時、適塾にはオランダ語の辞書は1冊しかなく、塾生は奪い合うように使って勉強したということです。福沢諭吉は自伝の中で、「凡そ勉強ということについてはこのうえにしようもないほどに勉強した」と述べています。

一方で洪庵は、医師の心得として「扶氏医戒之略(ふしいかいのりやく)」という12条の教えをまとめました。これはドイツ人の医師フーフランドの著書を翻訳する中でまとめたものです。その中に次の言葉があります。「安逸(あんいつ)を思はず、名利を顧みず、唯おのれをすてて人を救はんことを希(ねが)ふべし」。「気楽に過ごしたいと思ったり、世俗的な名声や利欲に走ることなく、ただ自分を捨てて人を救おうと願うべきである」という意味です。また「人の為に生活して、己のために生活せざるを業の本体とす」と述べ、あくまでも、人のため、患者のための医療でなくてはならないと言っています。また、「不治の病気であっても、その病苦を和らげ、その生命を保つようにすることは医師の務めである。それを放置して、顧みないことは人道に反する。たとえ救うことができなくても、患者を慰めることを仁術という」という言葉を残しています。「医は仁術なり」ということですが、洪庵はこの「仁の術」、つまり、思いやりの心、優しい気持ちを持つことが医学の基本であると、弟子達に対して一貫して教え示しました。さらに「医学を勉強することは当然であるが、自分の言葉や行動にも注意して、患者に信頼されるようであればならない」とも述べています。

このようにして、緒方洪庵は医師としての在り方、人としての在り方を示し実践しました。もちろん医学において、医療技術や広範な知識が必要なのは言うまでもありません。緒方洪庵はそのことを十分踏まえた上で、自らの職業を支える最も基本的で重要な心の在り方や言動を示し、それを実践したと言えます。

Be an Ace!という本校のスクールポリシーは、ただ単にリーダーを目指せ、という生き方ではありません。もちろん、リーダーになるからには、専門の知識・技能・技術を身に付ける必要があります。しかしそれだけでは、人を導き、人から信頼される真のリーダーにはなれません。どのような立場にあっても、分け隔てなく、相手に対して思いやりの心、優しい気持ちを持ち続け、自らの言葉や行動を正し、人のために役立つことを成し遂げようとする、そのような生き方が大切だと思います。このような生き方は、職業に関わりなく、また時代を超えて大切な生き方であると思います。

今週は小学生に対して本校の紹介をする機会がありました。パンフレットの表紙には、日本から飛び立って世界へと羽ばたいていく鳥の姿が描かれています。ここに描かれている鳥はただの鳥ではありません。それぞれが、「人のために役立ちたい、社会へ貢献したい」という大きな志を持った鳥です。本校の皆さんが、このような大きな志を抱いた鳥のようになってもらいたいという願いが込められています。

現在皆さんは、将来に向けた土台作りを行っています。学習、部活動、学校行事など様々な活動をとおして、その土台を強固なものにしていく必要があります。その時大切なのは、大きな志と人に対する優しい心です。リーダーとは人や社会の役に立ちたいという大きな志、そして誰に対しても分け隔てなく注げる優しさを兼ね備えた人のことだと思います。心ない言動によって人を悲しませたり、偏見や差別によって人の心を傷つけたりしてはいけません。真のリーダーとは、思いやりの気持ちを持って人に接し、常に自らの言葉や行動を正し、人のために役立つことを成し遂げようとする人であると思います。

このパンフレットの飛び立つ鳥のように、大きな志と思いやりの心を持って、将来、新潟県、日本、そして世界に貢献できる人材になってもらいたいと思います。

以上で、1 学期終業式並びに2 学期始業式の話を終ります。

## 上越合同新人各種大会に1、2年生が出場！

10月3日（水）、秋晴れに恵まれ上越合同新人各種大会が開かれました。本校1、2年生は日頃の部活動の成果を発揮して一生懸命に競技しました。公式戦で初勝利を勝ち取った生徒、強豪相手に善戦した生徒、悔しい結果だった生徒など様々ですが、今回の経験を生かし、冬場のトレーニングを地道に行って来春に花を咲かせてほしいと思います。応援に来てくださった保護者の皆様、ありがとうございました。



部活動名	期日、会場	結果（対戦相手、点数）
サッカー	10月3日（水） 新井総合運動公園	0-3鏡が沖 1-0城東 <b>リーグ2位</b> 上位リーグ戦に進出
男子バスケットボール	10月3日（水） リージョンプラザ上越	51-40 直江津 39-54 城西 <b>ブロック2位</b>
女子バスケットボール	10月3日（水） リージョンプラザ上越	1回戦 27-72 城北 順位決定戦 18-16 直江津東 17-20 城東 <b>6位</b>
バレーボール	10月3日（水） 柿崎中学校体育館	1回戦 2-0春日 2回戦 2-0大潟町 準決勝 0-2牧・浦川原合同 <b>ブロック3位</b>
剣道	10月3日（水） 浦川原総合体育館	個人戦 男子 2回戦進出 個人戦 女子 出場
柔道	10月3日（水） 高田スポーツセンター	個人戦 女子の部 <b>第1位</b> 個人戦 男子体重別 出場
野球	10月3日（水） 柿崎総合運動公園野球場	1回戦 3-6 直江津東中 3位決定戦（敗者戦）3x-2 安塚・八千浦中 <b>ブロック3位</b>
卓球	10月3日（水） 上越市総合体育館	団体戦 男子予選リーグ出場（0勝3敗） 個人戦 1年男子シングルス <b>第5位</b> 女子 出場

## いよいよ明日は文化祭～大勢の保護者の皆様、御家族の皆様お待ちしております～

10月13日（土）は第11回直江津中等文化祭（NaoFes!）が開催されます。保護者の皆様、御家族の皆様の御来校を心からお待ちしています。生徒たちは明日のために準備を重ねてきました。全校生徒が「おもてなしの心」で御来校の皆様を迎えたいと思います。吹奏楽部の演奏は9時から、イベントは9時30分から始まります。駐車場は愛宕の園駐車場と直江津中学校北側駐車場（直江津中の生徒玄関方向には通り抜け禁止です）のみで、台数が限られます。できるだけ公共交通機関を御利用ください。また、スリッパの数も限られていますので上履きの御用意をお勧めいたします。

### 今後の主な日程

- 10月13日（土）文化祭 6年生学習会
- 14日（日）漢字検定
- 15日（月）文化祭代休
- 16日（火）月曜授業 3年生三者面談（19日まで）
- 17日（水）カウンセラー来校日（午後）
- 18日（木）短縮授業 クラブ
- 20日（土）前期生学力推移調査 4、5年生土曜講座 6年生駿台大学別、医療看護模試
- 22日（月）3年生7限授業開始 後期生7限薬物乱用防止教室
- 24日（水）委員会 カウンセラー来校日（午後）
- 25日（木）クラブ
- 26日（金）短縮授業 同窓会講演会 同窓会総会
- 27日（土）4、5年生進研模試 6年生全統模試

5月から環境委員会が入入れを続け、咲き続けた花が、文化祭の玄関で皆さんを迎えます。

